

平成27年度
戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)
募集説明会

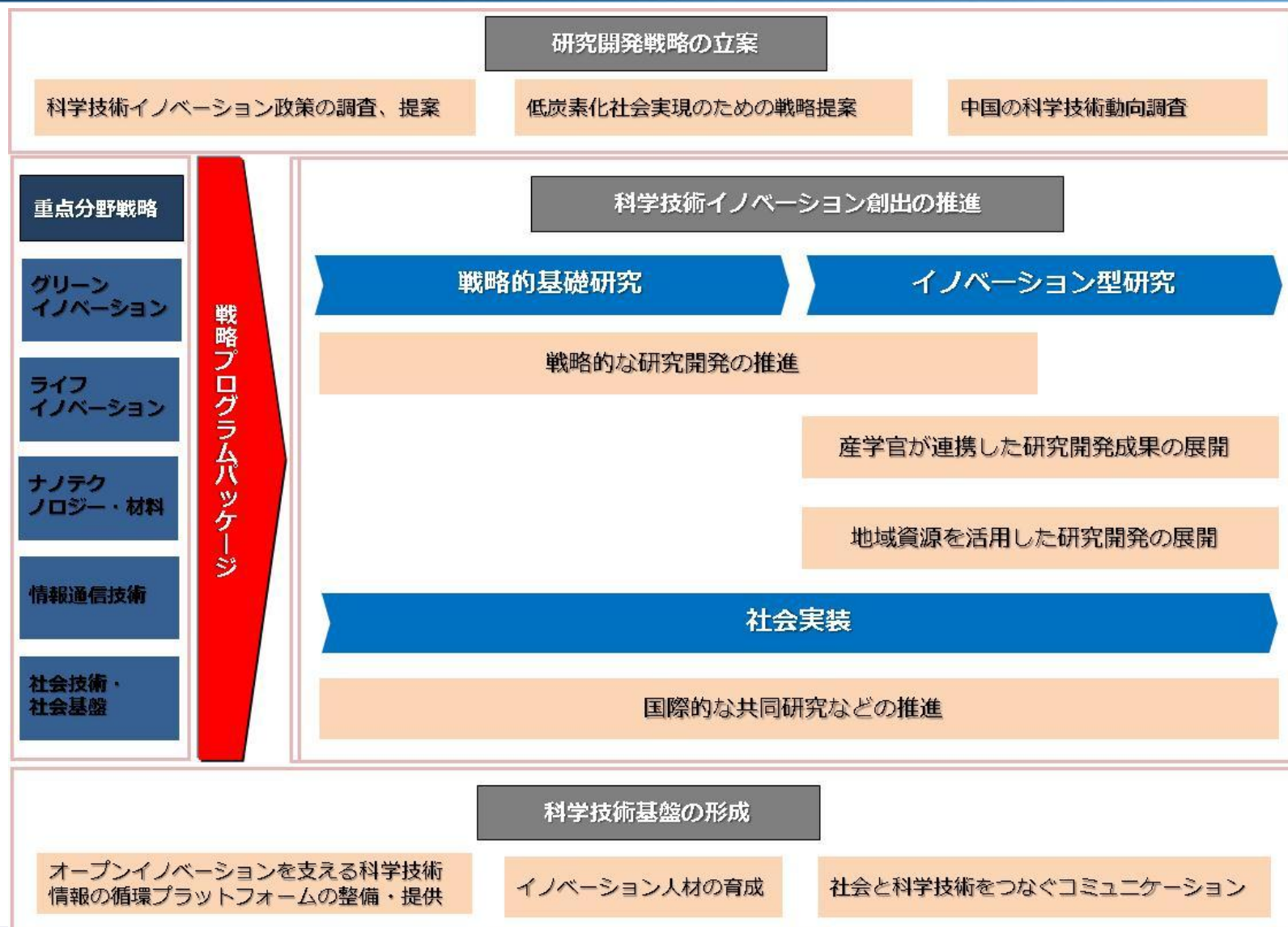
社会技術研究開発について

平成27年5月



科学技術振興機構

JSTの事業概要



社会技術が目指すもの

社会技術とは

- 自然科学と人文・社会科学の複数領域の知見を統合して新たな社会システムを構築していくための技術※
- 社会を直接の対象とし、社会において現在存在しあるいは将来起きることが予想される問題の解決を目指す技術

※「社会技術の研究開発の進め方について」(平成12年12月)より

取組・アプローチの特質

【問題の発掘】

- 多種多様な社会問題の俯瞰的把握
- 関与者(ステークホルダー)との密接なコミュニケーション

【研究開発の実施】

- 現場主義(関与者との協働)
- 人文・社会科学と自然科学との連携
- PDCAサイクルの徹底

【成果の活用】

- 社会への実装を強く意識

I. 社会における取り上げるべき 具体的問題の探索・抽出

- 子ども・若者
- 高齢社会
- 都市・地域
- 科学技術ガバナンス
- 環境・エネルギー
- 医療・介護
- 産業競争力
- 災害・事故
- etc.

研究会 インタビュー フォーラム・シンポジウム
ワークショップ 各種調査

II. 研究開発領域・プログラムの設定

文献等調査・
インタビュー・
ワークショップ

領域具体案立案

ワークショップ・
フォーラム

・産学官市民の参画
・人文・社会・自然科学の協働

NPO 産業 ...

研究者
人文・社会・自然科学

シーズ・科学技術の新たな知見

国等の方針

事前評価
領域設定・領域総括決定

社会的・公共的
価値の創出

社会

協働

科学
技術

III. 研究開発の推進

研究開発領域・プログラム

課題募集・選考、領域会議、
現地調査、ネットワーク拡大

研究開発プロジェクト

研究体制構築、詳細な現状
調査・分析、仮説設定

PDCAサイクル

解決策立案・改訂

社会実験

中間・事後評価

定着

NPO 行政
企業

普及

成果の社会への実装

要請・ニーズ

要請・ニーズ

IV. プロトタイプの提示

方法論、適用条件(地域特性・制約)、
担い手育成・確保、技術の要素、社
会の受容・合意形成、受け手の規
模.....

情報提供・ネットワークの活用

そのまま社会へ

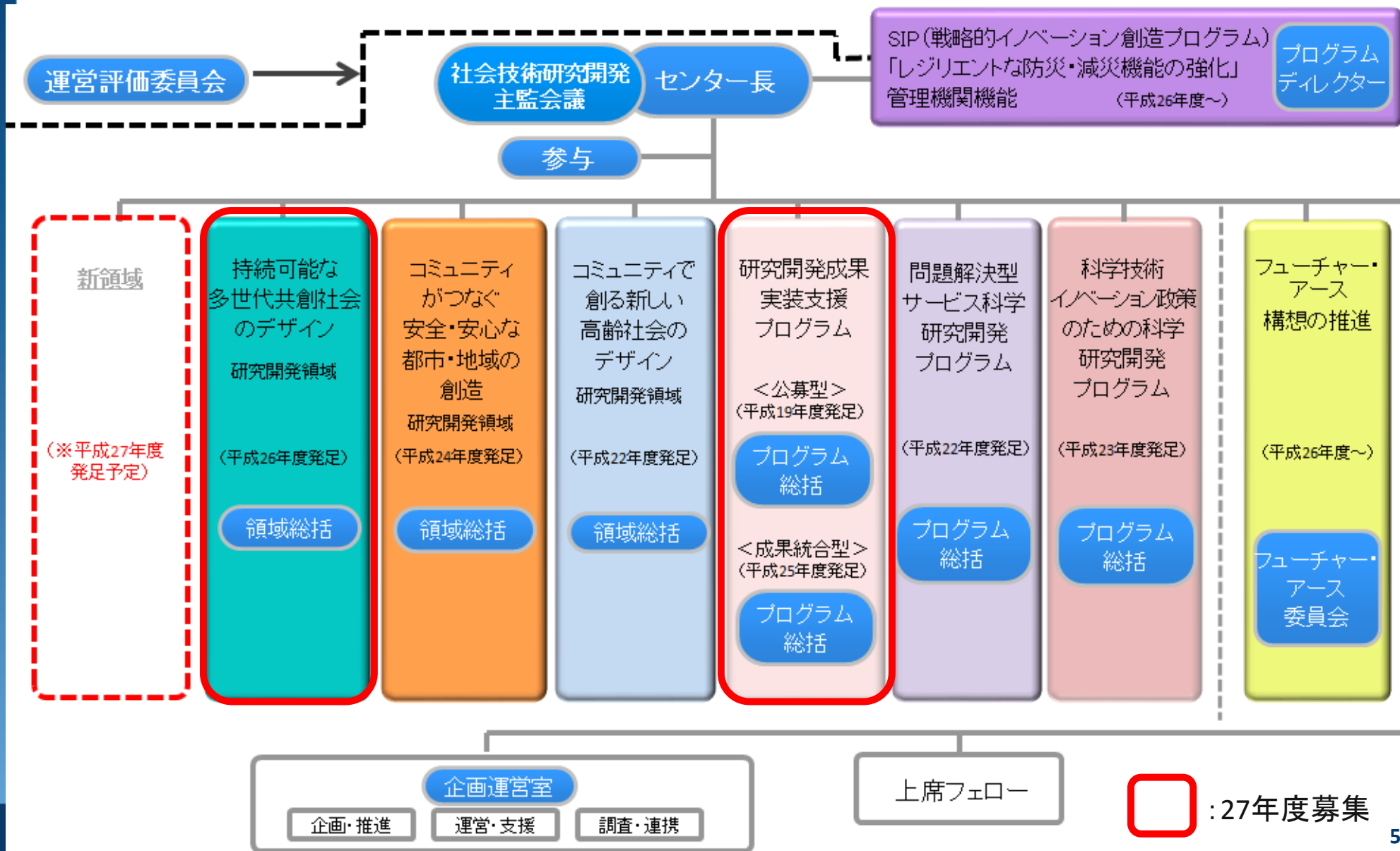
追跡評価

V. プロトタイプの実行支援

研究開発成果実装支援プログラム

他制度の成果

社会技術研究開発センター組織図



研究開発領域・プログラムの運営体制

